

週間情報

No. **0837**

発行: 全国消防長会 企画部 企画課 東京都港区虎ノ門 2-9-16 TEL03-4500-6622 URL: <https://www.fcqj.gr.jp/>

目次

※ 目次の項目をクリックすると、該当ページへ移動します。

両 会 の 動 き

- ◆ 消防実務講習会（予防・広報）を開催
- ◆ 「火災予防啓発ノート寄贈式」を実施

[一般財団法人全国消防協会中国地区支部](#)

[静岡県東部消防長会（静岡）](#)

消 防 本 部 の 動 き

▽訓 練

- ◆ 山岳救助訓練を実施
- ◆ マンホール坑内を利用した地下閉鎖空間における救出訓練を実施
- ◆ 海上保安庁機動救難士との合同救助訓練を実施
- ◆ 大規模災害対応図上訓練を実施
- ◆ 「テロ対処訓練」を実施
- ◆ 第10回諏訪広域消防本部救急技術発表会を実施
- ◆ 多数傷病者対応訓練を実施
- ◆ 救急の日に伴う広域連携救急シミュレーション訓練を実施
- ◆ 4消防本部合同水難救助訓練を実施

[峡北広域行政事務組合消防本部（山梨）](#)

[駿東伊豆消防本部（静岡）](#)

[舞鶴市消防本部（京都）](#)

[とかち広域消防局（北海道）](#)

[利根沼田広域消防本部（群馬）](#)

[諏訪広域消防本部（長野）](#)

[高島市消防本部（滋賀）](#)

[笠岡地区消防組合消防本部（岡山）](#)

[羽島郡広域連合消防本部（岐阜）](#)

▽研 修

- ◆ 「女性消防吏員活躍推進アドバイザー研修会」を実施
- ◆ 警防研究会を実施
- ◆ 「現場指揮」を題材とした職員研修を開催
- ◆ 「消防訓練指導 署長査閲」を開催
- ◆ 運転技能講習を実施
- ◆ 最先端のロープレスキュー技術の共有研修会を実施

[弘前地区消防事務組合消防本部（青森）](#)

[尼崎市消防局（兵庫）](#)

[坂出市消防本部（香川）](#)

[多治見市消防本部（岐阜）](#)

[阿久根地区消防組合消防本部（鹿児島）](#)

[明石市消防局（兵庫）](#)

[目次に戻る](#)

◆ 予防業務に関する勉強会を実施

つくば市消防本部（茨城）

◆ 救急隊員研修会を開催

久慈広域連合消防本部（岩手）

◆ 救急医療週間に合わせた特別研修会を実施

菊池広域連合消防本部（熊本）

◆ コミュニケーション研修を実施

うるま市消防本部（沖縄）

◆ 土砂災害講演会を開催

常滑市消防本部（愛知）

◆ 京滋ドクターヘリ・済生会滋賀県病院ドクターカー症例検討会を開催

湖南広域消防局（滋賀）

◆ 受援計画に基づく勉強会（図上訓練）を実施

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部（秋田）

▽その他

◆ サングラスを活用した紫外線対策を実施

新潟市消防局（新潟）

◆ 早稲田大学と熱中症リスクに関する共同研究を実施

磐田市消防本部（静岡）

◆ 消防ナイトツアーを実施

館林地区消防組合消防本部（群馬）

◆ 「救急の日イベント２０２６」を開催

熱海市消防本部（静岡）

◆ 「ふれあい消防フェア」を開催

八尾市消防本部（大阪）

◆ 親子を対象とした予防救急の啓発活動を実施

水戸市消防局（茨城）

◆ 「音楽隊サマーインターンシップ」を開催

東京消防庁（東京）

◆ 「２０２６消防フェスティバル」を開催

江別市消防本部（北海道）

◆ 地域防災力向上セミナーを開催

日光市消防本部（栃木）

◆ 救急・消防フェアを開催

常陸大宮市消防本部（茨城）

◆ サッカーＪ３リーグ公式戦で「救急の日イベント」を開催

松本広域消防局（長野）

◆ 「救急・消防フェスタ in サーラ」を開催

豊橋市消防本部（愛知）

◆ 「救急フェア２０２６」を開催

松山市消防局（愛媛）

◆ 「金沢救急フェア２０２６」を開催

金沢市消防局（石川）

◆ 職員の家族を対象とした「応急手当体験型庁舎見学」を開催

備北地区消防組合消防本部（広島）

◆ 「空き家ホテル・旅館における放火等火災予防啓発活動」を実施

安達地方広域行政組合消防本部（福島）

◆ 地元高校生と連携して作成したデザインを採用した消防車両の運用を開始

松江市消防本部（島根）

◆ 一日救急隊長による救急業務に関する啓発活動を実施

宮古島市消防本部（沖縄）

[目次に戻る](#)

- ◆ 鳥取県東部医師会から応急手当普及啓発用資器材を寄贈

鳥取県東部広域行政管理組合消防局（鳥取）

国 等 の 動 き

▽消防庁通知等

- ◆ ガス・石油燃烧機器安全啓発チラシのご案内等の送付について
(事務連絡、令和8年9月9日)
- ◆ 消防本部における定年引上げに伴う高齢期職員の活躍等のための対応状況調査結果について
(消防消第375号、令和8年9月16日)

▽報道発表

- ◆ 令和8年防災功労者内閣総理大臣表彰（消防関係）
(令和8年9月11日、消防庁)
- ◆ 弾道ミサイルを想定した住民避難訓練の実施
(令和8年9月18日、内閣官房、消防庁)

▽情報提供

- ◆ 「ぼうさいこくたい2026 in 鳥取」の開催について

全国消防長会

「公式 X」を開設!!

～あなたのもとへ直接、素早く情報をお届け～

フォローはこちら



X (旧 Twitter) 登録用二次元コード

[目次に戻る](#)

両会の動き

◆ 消防実務講習会（予防・広報）を開催

一般財団法人全国消防協会中国地区支部

一般財団法人全国消防協会中国地区支部では、令和8年9月11日（金）、鳥取県米子市において、消防実務講習会（予防・広報）を開催しました。

当講習会では、開催地消防長（鳥取県西部広域行政管理組合消防局長）のあいさつに続き、第1部では、独立行政法人製品評価技術基盤機構（N I T E）中国支所長の下川智樹氏を講師としてお招きし、「火災原因調査に係る関係法規と事事故事例等」をテーマにご講義いただきました。

第2部では、大阪市消防局特別査察隊（予防部予防課担当係長）の井伊翔太氏から、「道頓堀火災を踏まえた予防対策、大阪市内の違反対象物の現状と対策、違反処理の取り組みについて」をテーマにご講義いただきました。

今後も、知識の向上のため、さまざまな取り組みを行ってまいります。



【講習会の様子】

◆ 「火災予防啓発ノート寄贈式」を実施

静岡県東部消防長会（静岡）

静岡県東部消防長会（下田消防本部、駿東伊豆消防本部、熱海市消防本部、富士山南東消防本部、御殿場市・小山町広域行政組合消防本部、富士市消防本部、富士宮市消防本部）では、令和8年9月3日（木）、「火災予防啓発ノート寄贈式」を実施しました。

このノートは、火災予防啓発およびLPガスのPR事業の一環として、一般社団法人静岡県LPガス協会東部支部から寄贈されたものです。

令和6年度から継続して寄贈いただいております、今年度も5600部が贈られました。

当日は、LPガス協会東部支部の渡邊聡支部長ほか4人が出席し、静岡県東部消防長会会長からLPガス協会東部支部に感謝状を贈呈しました。

今後は、寄贈されたノートを静岡県東部地区の各消防本部のイベントで配布するなど、火災予防の啓発に役立ててまいります。



【火災予防啓発ノート】



【寄贈式後の記念撮影】

消防本部の動き

▽訓 練

◆ 山岳救助訓練を実施

峡北広域行政事務組合消防本部（山梨）

峡北広域行政事務組合消防本部では、令和8年8月28日（金）、山梨県北杜市八ヶ岳南麓に位置する「美し森」において、北杜消防署、高根分署および白州分署の職員が山岳救助訓練を実施しました。

当消防本部管内には、日本百名山に選ばれている八ヶ岳、甲斐駒ヶ岳、瑞牆山をはじめ、数々の山々がそびえています。これらの雄大な自然を求めて多くの登山者が訪れる一方、滑落や転倒による受傷、体調不良などに起因する山岳救助事案も数多く発生しています。

この訓練は、救助技術の一層の錬磨と隊員相互の連携強化を図ることを目的として実施したものです。

今回の訓練では、「2人の重症傷病者が発生した」との想定で、各傷病者の容態や周囲の状況に応じた救出方法、活動手順について、検証・確認を行いました。

今後も、増加傾向にある山岳救助事案に的確に対応するため、継続的に訓練を積み重ね、市民の皆さまの安全・安心の確保に全力を尽くしてまいります。



【背負い搬送の様子】



【担架搬送の様子】

◆ マンホール坑内を利用した地下閉鎖空間における救出訓練を実施

駿東伊豆消防本部（静岡）

駿東伊豆消防本部では、令和8年8月26日（水）から28日（金）までの3日間、管内のNTT西日本沼津北ビルにおいて、マンホール坑内を利用した救出訓練を実施しました。

この訓練は、「マンホール坑内で作業員が熱中症により身動きが取れなくなった」との想定で、関係機関との連携強化を図るとともに、安全管理の徹底および迅速かつ的確な現場対応能力の向上を目的として実施したものです。

この訓練を通じて、NTT西日本のマンホール坑内での作業状況や消防による救助手法などについて、相互の共通認識を深めることができました。

今後も、本訓練の成果を生かし、災害対応能力の向上を図ってまいります。



【訓練の様子】

◆ 海上保安庁機動救難士との合同救助訓練を実施

舞鶴市消防本部（京都）

舞鶴市消防本部では、令和8年9月3日（木）から5日（土）までの3日間、舞鶴市西消防署および舞鶴港第3ふ頭において、第八管区海上保安本部の機動救難士をお招きし、合同救助訓練を実施しました。

この訓練は、複雑多様な救助事案や大規模災害に備え、両機関の連携体制の強化と技術の共有を図ることを目的として実施したものです。

訓練では、各種破壊器具の取り扱いや陸上ロープレスキュー訓練に加え、停泊中の巡視船を大型客船や座礁船に見立てた実践的な想定訓練を行いました。

特殊構造の船舶における狭隘区画からの引き揚げ搬送や、テンションラインを設定した座礁船から陸上への救出、はしご車と連携した船舶デッキからの救出など、現場に即した活動を展開しました。

また、海難事故における消防機関との合同活動事案について意見交換会を実施し、知識の共有を図りました。

今後も、両機関の連携を深め、地域防災力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】



【訓練後の記念撮影】

◆ 大規模災害対応図上訓練を実施

とかち広域消防局（北海道）

とかち広域消防局では、令和8年9月9日（水）、消防局および全19消防署の各庁舎において、Web会議システムを利用したオンライン方式で、大規模災害対応図上訓練を実施しました。

この訓練は、今後発生が想定される千島海溝沿いの巨大地震などに対応するため、大規模災害発生時における消防局および各消防署の連携強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、消防局36人、全19消防署から各2人の計74人が参加し、「十勝管内で最大震度6弱の地震が発生し、津波警報が発表された」との想定で、初動対応、連絡体制および情報共有体制について確認しました。

今後も訓練を継続し、大規模災害発生時の組織力の強化に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 「テロ対処訓練」を実施

利根沼田広域消防本部（群馬）

利根沼田広域消防本部では、令和8年9月9日（水）、沼田市内の「ZACROSアリーナぬまた」体育館において、沼田警察署（警備一課、外事課）、ZACROSアリーナぬまた職員、市職員および沼田准看護学校職員と合同で「テロ対処訓練」を実施しました。

この訓練は、2029年10月に開催予定の第83回国民スポーツ大会・第28回全国障害者スポーツ大会「湯けむり国スポ・全スポぐんま」のフェンシング競技会場に同施設が指定されたことを受け、無差別テロ事件の発生を想定し、事案対処能力の向上と関係機関の連携強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、2階観客席で「不審者が刃物により無差別に切りつけ、複数人の負傷者が発生した」との想定で、犯人の確保、観客の誘導、負傷者のトリアージおよび搬出を関係機関と連携して実施しました。

今後も、関係機関との連携を強化し、現場活動に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 第10回諏訪広域消防本部救急技術発表会を実施

諏訪広域消防本部（長野）

諏訪広域消防本部では、令和8年9月9日（水）、救急医療週間に合わせて、第10回諏訪広域消防本部救急技術発表会を実施しました。

この発表会は、心肺停止症例に対し、病態に応じた迅速な観察、状況に応じた適切な処置の選択、関係者への接遇に配慮できる能力を養い、隊員の資質の向上を図るとともに、隊連携の強化を図る活動を検証し、全体で共有することで、より効率的な活動につなげることを目的として実施したものです。

当日は、地域メディカルコントロール協議会と併催し、参画する医師をお招きして、医学的見地からの助言をいただきました。

これにより、活動への助言を得るとともに、処置要領の向上を図ることができました。

今後も傷病者や関係者に配慮した的確な活動を行うとともに、圏域住民の負託に応えるよう努めてまいります。



【発表会の様子】

◆ 多数傷病者対応訓練を実施

高島市消防本部（滋賀）

高島市消防本部では、令和8年9月8日（火）、9日（水）の2日間、「多数傷病者対応」をテーマに、救急隊員を対象とした訓練を実施しました。

この訓練は、多数傷病者発生時における迅速かつ的確な対応能力の向上と、関係機関との連携強化を目的として実施したものです。

今回の訓練では、京滋ドクターヘリおよび長浜赤十字病院ドクターカーの医師・看護師とともに、連携活動や多数傷病者発生時の対応について、実践的な訓練を行いました。

訓練を通じて、トリアージ、医療機関との連携要領、現場活動における役割分担および多数傷病者発生時の活動要領について再確認し、救急隊員の知識・対応能力の向上を図りました。

今後も継続して訓練を実施し、関係機関との連携を強化するとともに、迅速かつ適切な救急活動を行うことができる救急隊員の育成に努めてまいります。



【訓練の様子】



【医師からの講評の様子】

◆ 救急の日に伴う広域連携救急シミュレーション訓練を実施

笠岡地区消防組合消防本部（岡山）

笠岡地区消防組合消防本部では、令和8年9月9日（水）、井原地区消防組合消防本部と合同で救急シミュレーション訓練を実施しました。

この訓練は、南海トラフ地震をはじめとする大規模災害に備え、両消防本部の連携強化と、顔の見える関係を構築し、有事の際の円滑な連携活動につなげることを目的として実施したものです。

当日は、2つのブースに分かれ、計6件の想定訓練を実施しました。

訓練実施隊への想定付与および訓練後の振り返りを相手方の消防本部が担当することで、両消防本部の訓練内容や改善点を共有することができました。

参加隊員からは、「顔の見える関係を構築できることは、今後の消防活動においてプラスになる」「今後も同様の合同訓練を実施してもらいたい」などの声が聞かれました。



【訓練の様子】

◆ 4 消防本部合同水難救助訓練を実施

羽島郡広域連合消防本部（岐阜）

羽島郡広域連合消防本部では、令和8年9月14日（月）、岐阜メモリアルセンター長良川スイミングプラザにおいて、木曽川流域消防相互応援協定に基づき、一宮市、稲沢市および羽島市を管轄する各消防本部と、県境を越えた合同水難救助訓練を実施しました。

この訓練は、救助体制の確立と隊員の技術向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、水没車両に見立てた構造物からダミー人形を救出するなど、実災害を想定した活動を行いました。

当消防本部では、今後も継続して合同訓練を重ね、連携をさらに深めることで、地域住民や川を利用する方々の安全・安心の確保に努めてまいります。



【訓練の様子】



【訓練後の記念撮影】

▽ 研 修

◆ 「女性消防吏員活躍推進アドバイザー研修会」を実施

弘前地区消防事務組合消防本部（青森）

弘前地区消防事務組合消防本部では、令和8年8月26日（水）、総務省消防庁の「女性消防吏員活躍推進アドバイザー制度」を活用した研修会を実施しました。

この研修会は、女性消防吏員のさらなる活躍推進と誰もが働きやすい職場環境づくりを目的として実施したものです。

当日は、豊橋市消防本部の女性消防吏員活躍推進アドバイザーである原田小砂子氏を講師としてお招きし、女性消防吏員の採用拡大に向けた取り組みや職域拡大、ライフステージに応じた配置、職場環境整備の事例などについて説明を受けました。

参加者は、性別に関わらず全ての職員が能力を十分に発揮できる組織づくりの重要性について理解を深め、今後の職場運営に生かす決意を新たにしました。



【研修会の様子】

◆ 警防研究会を実施

尼崎市消防局（兵庫）

尼崎市消防局では、令和8年8月25日（火）、26日（水）の2日間、警防研究会を実施しました。

この研究会は、火災現場における火災性状に関する基礎的な知識を習得し、安全かつ効率的な活動能力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、鉄製および木製のファイヤーコントロールBOXを用いた燃焼実験などを実施し、火炎の拡大、煙の挙動および換気条件による燃焼状況の変化を視覚的に確認しました。

また、消防活動と並行して常に火災性状の把握に努め、その変化に応じた安全かつ的確な活動を行うことの重要性を再認識しました。

今後も実践的な訓練・研究を通じ、消防隊員の知識・技術および現場対応力の向上に努めてまいります。



【研究会の様子】

◆ 「現場指揮」を題材とした職員研修を開催

坂出市消防本部（香川）

坂出市消防本部では、令和8年8月28日（金）、署内において、小隊長以上の職員を対象に、さいたま市消防局の河内亮介氏（元消防大学校教官）を講師にお招きし、「現場指揮」を題材とした職員研修を開催しました。

この研修は、「現場指揮」について小隊長を通じて全署員が共通認識を持つことを目的として実施したものです。

研修では、現場指揮についてさまざまな角度からひもとき、身振り手振りを交えながら、ユーモアを取り入れた分かりやすい表現で解説していただきました。

さらに、消防の先祖とされる「臥煙（がえん）」は、広辞苑では「ならず者」とされており、そうした人々が努力を重ね、市民から認められ、公務員に至った経緯が紹介されました。

また、非番を含め、常に消防職員として市民から信頼を得ていかなければならないという言葉もあり、4時間にわたる充実した講義は、受講者から好評を得ました。

私たちは今なお道半ばであり、100年、200年先の消防職員へとつなげていけるよう、今後も精進してまいります。



【研修の様子】



【指揮板の作成要領】

[目次に戻る](#)

◆ 「消防訓練指導 署長査閲」を開催

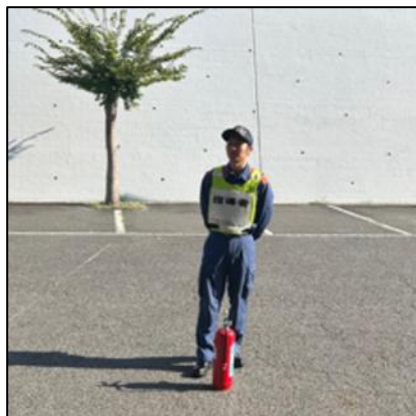
多治見市消防本部（岐阜）

多治見市消防本部では、令和8年8月31日（月）、南消防署において、「消防訓練指導 署長査閲」を開催しました。

これは、「新任予防担当教育計画」という南消防署独自の教育カリキュラムに基づき、新任予防担当職員の知識・技術の向上と、質の高い消防訓練指導による火災被害の軽減を目的として、例年実施しているものです。

今回は、入庁2年目の若手職員が、事業所の従業員に扮した上司や先輩を相手に、一連の模擬指導を行いました。

6月に東京都内の小学校で発生した火災を受け、消防訓練の重要性が改めて認識される中、当消防本部では、常に職員のスキルアップを図り、引き続き職員教育を実施してまいります。



【訓練指導の様子】



【署長査閲の様子】

◆ 運転技能講習を実施

阿久根地区消防組合消防本部（鹿児島）

阿久根地区消防組合消防本部では、令和8年7月から8月にかけて、（有）阿久根自動車学校にご協力いただき、同校の施設を使用して運転技能訓練および学科テストを実施しました。

この講習は、通常走行および緊急走行時における安全・確実かつ迅速な車両運行を確保するため、運転技能の向上を図ることを目的として実施したものです。

期間中は、基本的な運転操作をはじめ、緊急走行時における安全確認や周囲の状況に応じた判断などについて、実際の走行を想定した訓練を行いました。

今回の訓練を通じて、運転操作を確実に行うことの重要性を再認識するとともに、緊急時においても冷静かつ的確に状況を判断することの重要性を学びました。

今後も、今回の訓練で得た知識や技能を実際の車両運行に生かし、安全運転を徹底するとともに、安全かつ迅速な消防活動につなげてまいります。



【講習の様子】

◆ 最先端のロープレスキュー技術の共有研修会を実施

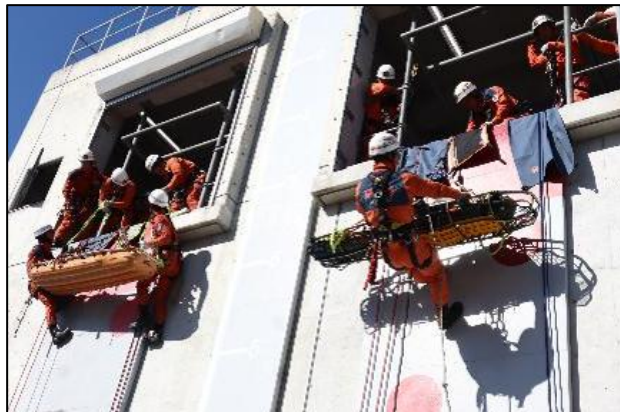
明石市消防局（兵庫）

明石市消防局では、令和8年9月1日（火）、消防署内において、国内外の研修に参加した隊員による、最先端のロープレスキュー技術の共有研修会を実施しました。

この研修会は、消防局内の救助隊員を対象に、「1人の100歩より100人の1歩」を目指して、最新の知識と技術を互いにアップデートすることを目的として実施したものです。

当日は、ロープレスキューの基礎から応用までを1日を通して学び、市民の皆さまに、より安全・確実・迅速で質の高い救助活動を提供できるよう、スキルアップに努めました。

今後も、明石市を「災害に立ち向かえる安心できる町」にしていけるよう、全力で取り組んでまいります。



【研修会の様子】



【研修会後の記念撮影】

◆ 予防業務に関する勉強会を実施

つくば市消防本部（茨城）

つくば市消防本部では、令和8年9月3日（木）、4日（金）の2日間、職員を対象とした予防業務に関する勉強会を実施しました。

この勉強会は、法令に基づいた消防用設備等の審査手順を身につけることを目的として実施したものです。

当日は、89人の職員が参加し、座学では法令の読み方と消防用設備等関係図書の活用方法を学び、グループワークでは消防同意時における模擬審査を行いました。

今後も予防業務に関する勉強会を開催し、職員の知識・技術の向上を図るとともに、市民の安全・安心の確保に努めてまいります。



【座学の様子】



【グループワークの様子】

◆ 救急隊員研修会を開催

久慈広域連合消防本部（岩手）

久慈広域連合消防本部では、令和8年9月8日（火）、久慈市防災センターにおいて、救急隊員研修会を開催しました。

この研修は、救急救命士および救急隊員の知識の向上と情報共有を目的として、集合研修とオンラインを併用したハイブリッド形式で開催したものです。

当日は、署員が事前に作成した「失敗事例」の救急活動動画を基に、「活動のピットフォール」「傷病者にとって有益な処置・判断」「プロトコールとの整合性」についてグループワークで議論・発表を行い、指導救命士による講義を通じて、さらに知識を深めました。

今後も救急に関する知識・技術の研さんに努め、地域住民の安全・安心を守るための「現場力」の向上を目指し、全力で取り組んでまいります。



【研修会の様子】



【救急活動動画】

◆ 救急医療週間に合わせた特別研修会を実施

菊池広域連合消防本部（熊本）

菊池広域連合消防本部では、令和8年9月8日（火）、菊池広域連合桜消防署において、管内4消防署の救急隊員など50人が参加し、救急医療週間に合わせた特別研修会を実施しました。

当日は、「救急現場における接遇向上研修会～住民に信頼される救急隊員を目指して～」と題し、熊本県消防学校の教務参事である古川怜氏を講師にお招きし、「消防職員に求められる接遇」について講義を受けました。

研修に先立ち実施した事前アンケートでは、傷病者やその家族など外部の方に対する接遇は概ねできている一方、職員同士のコミュニケーションや接遇については、さらに意識する必要があるとの結果が得られました。

今回の研修を通じて、参加者一人一人が自身の接遇について振り返るとともに、救急隊員として住民に安心感を与え、信頼される対応の重要性を再認識しました。



【研修会の様子】

◆ コミュニケーション研修を実施

うるま市消防本部（沖縄）

うるま市消防本部では、令和8年9月8日（火）、9日（水）の2日間、消防署の管理職および係長を対象に、コミュニケーション研修を実施しました。

この研修は、メンタルヘルスケア対策を一層推進することを目的として実施したものです。

研修では、当市のメンタルヘルス相談員を講師にお招きし、日頃からのあいさつや声かけの大切さ、小さな違和感や変化への気づき、傾聴や効果的な質問の技術などについて講義を受けました。

今後も本研修を継続するとともに、職員間の良好なコミュニケーションのあり方を研究し、組織の団結力の向上に努めてまいります。



【研修の様子】

◆ 土砂災害講演会を開催

常滑市消防本部（愛知）

常滑市消防本部では、令和8年9月10日（木）、土砂災害講演会を開催しました。

この講演会は、土砂災害への対応力の向上を図るとともに、実際の災害事例から消防活動に必要な知識や教訓を学ぶことを目的として開催したものです。

当日は、蒲郡市消防本部の職員を講師にお招きし、令和6年8月に蒲郡市で発生した土砂災害について、災害発生時の状況や消防活動、関係機関との連携などについて講演していただきました。

また、同災害では愛知県消防広域応援が行われたことから、応援隊の活動や広域応援の運用についても説明があり、参加した約60人の職員は、災害時における消防機関の連携について理解を深めました。



【講演会の様子】

◆ 京滋ドクターヘリ・済生会滋賀県病院ドクターカー症例検討会を開催

湖南広域消防局（滋賀）

湖南広域消防局では、令和8年9月10日（木）、草津市コミュニティ防災センターにおいて、救急医療週間に合わせ、京滋ドクターヘリおよびドクターカーを運航する済生会滋賀県病院の医師および看護師とともに、救急隊と連携した事案の症例検討会を開催しました。

この検討会は、消防と病院がそれぞれの課題について検討し、意見を交わすことで、情報を共有するとともに、今後の活動に関する認識を共有することを目的として実施したものです。

今後も継続して実施し、救急隊と医師との連携強化を図るとともに、救急隊のさらなる資質向上に努めてまいります。



【検討会の様子】

◆ 受援計画に基づく勉強会（図上訓練）を実施

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部（秋田）

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部では、令和8年9月11日（金）、大曲消防署において、受援計画に基づく勉強会（図上訓練）を実施しました。

この勉強会は、受援に関する知識の向上を図ることを目的として、署員が企画し実施したものです。

当日は、大仙市大曲地域を被災地と想定し、指揮命令系統および関係機関への要請・連絡方法の確認などを行いました。

今後も勉強会を開催し、職員の知識・教養・技術の向上を図るとともに、安全・確実な災害対応につなげてまいります。



【勉強会の様子】

▽その他

◆ サングラスを活用した紫外線対策を実施

新潟市消防局（新潟）

新潟市消防局では、令和8年8月22日（土）、第54回全国消防救助技術大会（以下「全国大会」という。）において、サングラスを活用した紫外線対策を実施しました。

これは、職員の目を紫外線から保護することを目的として実施したものです。

全国大会の開催にあたり、審査に携わる職員から紫外線による目の疲労についての意見が数多く寄せられたことから、メガネブランド「Zoff（ゾフ）」を運営する株式会社インターメスティックに相談したところ、「めのため、未来プロジェクト」の一環として、職員の紫外線対策を提案いただきました。

全国大会では、Zoffからモニター用としてサングラスを借用させていただき、審判員などが着用して紫外線対策を行いました。

着用した職員からは眩しさがなくなり、目の疲労感が軽減したとの声が上がりました。

今後は各消防署などにサングラスを配備し、その有効性を検証していく予定です。



【活用したサングラス】



【サングラス着用の様子】

◆ 早稲田大学と熱中症リスクに関する共同研究を実施

磐田市消防本部（静岡）

磐田市消防本部では、令和8年8月23日（日）、熱中症予防・対策研究を専門とする早稲田大学の細川由梨准教授の研究チームと連携し、熱中症リスクに関する「消防士の実活動を模した訓練中における熱負荷の定量化」と題した共同研究を実施しました。

この研究は、消防活動中に潜む「熱中症リスク」を明らかにすることを目的としたものです。

当日は、想定した一連の火災訓練を行いながら、「カプセル型腸内温度センサー」や「ウェアラブルデバイス」を用いて、深部体温、皮膚温、心拍数などをリアルタイムで計測しました。

今後は、気候の異なる「非暑熱期」にも測定を行い、計2回のデータを比較・分析し、フィードバックしていただく予定です。

当消防本部では、このように専門的な知見を有する研究機関などとの緊密な連携のもと、さまざまな取り組みを展開し、科学的根拠に基づく隊員の安全管理に努めてまいります。



【モニタリングの様子】



【ヒアリングの様子】

[目次に戻る](#)

◆ 消防ナイトツアーを実施

館林地区消防組合消防本部（群馬）

館林地区消防組合消防本部では、令和8年8月29日（土）、「消防ナイトツアー」を実施しました。

このイベントは、管内の小学校4年生から6年生とその保護者を対象に、地域住民の皆さまに消防行政への理解を深めていただくとともに、子どもたちに将来、消防官を目指すきっかけとしてもらうことを目的として実施したものです。

当日は、消防車への乗車・走行体験や放水体験、起震車による地震体験のほか、消防職員が調理した「消防メシ」の提供、夜間における消防隊訓練の披露などを行いました。

参加した36人の親子が、楽しく、真剣に各種体験に取り組む姿が見られました。

今後も、消防業務に関する広報の一環として、さまざまな取り組みを行い、消防の魅力を発信してまいります。



【「消防メシ」提供の様子】



【訓練披露の様子】

◆ 「救急の日イベント2026」を開催

熱海市消防本部（静岡）

熱海市消防本部では、令和8年8月29日（土）、消防署において、順天堂大学医学部附属静岡病院との共催により、「救急の日イベント2026」を開催しました。

このイベントは、救急医療および救急業務に対する市民の理解を深めることを目的として実施したものです。

当日は、フライトナースも参加し、ドクターヘリの救急バッグの展示や子ども用フライトスーツの試着体験を行いました。

また、救急車の試乗、胸骨圧迫やAEDの操作体験など、さまざまな体験コーナーを設けました。

多くの市民や観光客が参加し、医療・消防の活動を身近に体験できる機会となり、会場は親子連れなどでにぎわいました。

医療機関との連携により、ドクターヘリと救急隊の連携体制を紹介するとともに、地域救急医療への安心感や信頼につながる取り組みとなりました。

今後も、医療機関との顔の見える連携を深め、地域全体の救命意識の向上に努めてまいります。



【フライトナースによる説明の様子】



【乗車体験の様子】

[目次に戻る](#)

◆ 「ふれあい消防フェア」を開催

八尾市消防本部（大阪）

八尾市消防本部では、令和8年8月29日（土）、アリオ八尾において、「ふれあい消防フェア」を開催しました。

このイベントは、防火・防災の啓発を図ることを目的として実施したものです。

会場では、当消防本部マスコットキャラクター「はちぼう」と「はちきゅう」がオープニングを飾り、バッテリーカーの走行体験や白バイの乗車記念撮影が人気を集めました。

屋外会場では、救急車と消防車のほか、パトカーや自衛隊車両、給水車、トイレカーを展示しました。

さらに、防災の日を目前に控え、感震ブレーカーの展示・実演を行い、多くの来場者の関心を集めました。

多くの子どもの笑顔あふれる防火・防災イベントとなりました。



【オープニングの様子】



【車両展示の様子】

◆ 親子を対象とした予防救急の啓発活動を実施

水戸市消防局（茨城）

水戸市消防局では、令和8年8月3日（月）から31日（月）までのうち12日間、夏休み期間中に開設された大型遊具を設置したキッズスペース「みとちゃんらんど」において、未就学児と保護者を対象とした「短時間ミニ救急教室」を実施しました。

この取り組みは、親子に救急や家庭内の事故について楽しく学んでもらい、事故の予防や応急手当への関心を高めることを目的として実施したものです。

期間中は、救急クイズやオリジナルの心肺蘇生法体操などを行い、約110人が参加しました。

また、同年9月3日（木）、庁内のエレベーターホールに会場を設け、乳幼児健診に訪れた親子を対象に、家庭内で起こる事故のヒヤリハットクイズや窒息介助の体験を行うとともに、マイナ救急や市内のコンビニに設置されたAEDについて紹介し、約70人が参加しました。

今後も家庭内の事故防止と、将来のバイスタンダーとなる土台づくりを目指し、短時間でも楽しく学べる啓発活動を展開してまいります。



【みとちゃんらんどの様子】



【短時間ミニ救急教室の様子】

◆ 「音楽隊サマーインターンシップ」を開催

東京消防庁（東京）

東京消防庁音楽隊では、令和8年9月3日（木）、音楽隊業務に興味のある方を対象に、麹町合同庁舎において「音楽隊サマーインターンシップ」を開催し、19歳から30歳までの13人が参加しました。

このインターンシップは、職員募集の広報活動を目的として実施したものです。

これまでも、業務説明や施設見学、合同演奏、現役音楽隊員との座談会を組み込んだ体験見学会を実施していましたが、今回は内容を充実させ、インターンシップ参加者と一緒に合奏訓練を行った上で、その成果をミニコンサートで披露する形式に変更しました。

参加者からは、「音楽隊の活動をさまざまな体験を通して知ることができた」「もっと早くインターンシップに来れば良かったと思うくらい充実した一日だった」などの声が寄せられました。



【ミニコンサートの様子】



【座談会の様子】

◆ 「2026消防フェスティバル」を開催

江別市消防本部（北海道）

江別市消防本部では、令和8年9月5日（土）、イオン江別店の屋外駐車場において、体験型イベント「2026消防フェスティバル」を開催しました。

このイベントは、防火・防災への意識向上を図ることを目的として実施したものです。

オープニングセレモニーでは、一日消防クラブ員による防火宣言、救助隊員による懸垂降下の展示、幼年消防クラブ員による消防車綱引きを行いました。

子どもたちは、初期消火体験、煙体験ハウス、応急手当、放水体験などの各種コーナーを体験したほか、消防車両の見学や、子ども用防火衣を着て消防車をバックに写真撮影を行いました。

各コーナーには多くの参加者が訪れ、閉会まで途切れることなく長い列ができるなど、盛況となりました。

また、コンロ火災の再現などによる火災予防広報を行い、多くの市民に防火・防災について啓発する機会となりました。



【懸垂降下の様子】



【消防車綱引きの様子】

◆ 地域防災力向上セミナーを開催

日光市消防本部（栃木）

日光市消防本部では、令和8年8月29日（土）、30日（日）、9月5日（土）の3日間、各消防署において、自主防災組織を対象に地域防災力向上セミナーを開催しました。

これは、地域の防災力の向上を図ることを目的として実施したものです。

セミナーでは、平成27年9月関東・東北豪雨災害から地域住民を守った茨城県常総市根新田自主防災組織事務局長の須賀英雄氏による講演およびワークショップを行い、自主防災組織間の交流を深めました。

災害に強いまちづくりに向け、自主防災組織の連携強化に努めてまいります。



【ワークショップの様子】

◆ 救急・消防フェアを開催

常陸大宮市消防本部（茨城）

常陸大宮市消防本部では、令和8年9月5日（土）、市内の商業施設において、「救急・消防フェア」を開催しました。

このイベントは、応急手当や救急車の適正利用、防火・防災に関する知識を身につけていただくことを目的として実施したものです。

当日は、多くの家族連れや子どもたちが来場し、応急手当体験、救急資機材取り扱い体験、水消火器体験、ロープ結び体験、消防車両の見学、防火衣装着体験など、さまざまな体験を通して救急・消防について楽しく学んでいただきました。

参加者は、消防車両や救急資機材などに興味を示し、職員の説明を聞きながら、それぞれの体験に積極的に取り組んでいました。

今後も、市民の皆さまに救急・消防を身近に感じていただける取り組みを進めてまいります。



【応急手当体験の様子】



【防火衣装着体験の様子】

◆ サッカーJ3リーグ公式戦で「救急の日イベント」を開催

松本広域消防局（長野）

松本広域消防局では、令和8年9月5日（土）、サンプロアルウィンにおいて、J3リーグ公式戦「松本山雅FC対FC大阪」の観戦者を対象に、「救急の日イベント」を開催しました。

このイベントは、救急車の適正利用や応急手当の普及を図るとともに、マイナ救急や予防救急について広く知っていただくことを目的として実施したものです。

当日は、救急車の展示、心肺蘇生法の実技、#7119やマイナ救急のPRなどを行いました。

デジタル庁の公式キャラクター「マイナちゃん」も登場し、子どもたちとの記念撮影などで会場を盛り上げました。

また、大型ビジョンでは消防職員が制作した熱中症予防動画を放映したほか、ハーフタイムにはピッチを一周しながら各種啓発を行いました。

多くの観戦者に救急に関する情報を届ける機会となりました。

今後も、マイナ救急や予防救急の普及啓発に努めてまいります。



【心肺蘇生法の実技の様子】



【デジタル庁公式キャラクター「マイナちゃん」】

◆ 「救急・消防フェスタ in サーラ」を開催

豊橋市消防本部（愛知）

豊橋市消防本部では、令和8年9月5日（土）、9月9日の「救急の日」にちなみ、サーラプラザ豊橋において、「救急・消防フェスタ in サーラ」を開催しました。

このイベントは、サーラエナジー株式会社との包括連携協定に基づき、地域住民の救急や火災予防に対する理解を深めることを目的として実施したものです。

当日は、簡易救命講習、防火セミナー、救急活動のデモンストレーションなどを実施し、参加した親子からは「いざという時の応急手当の大切さがわかった」との声が聞かれました。

また、市内の小中学生から応募された救急標語の中から、優秀作品の表彰式を行いました。

今後もさまざまな機会を捉え、救急や火災予防に関する普及啓発に取り組んでまいります。



【救急活動のデモンストレーションの様子】



【表彰後の記念撮影】

◆ 「救急フェア2026」を開催

松山市消防局（愛媛）

松山市消防局では、令和8年9月5日（土）、松山圏域の各消防本部や県・市保健所と連携し、「救急フェア2026」を開催しました。

このイベントは、救急の日を前に、救急医療および救急業務に対する理解と認識を深めていただくことを目的として開催したものです。

当日は、Jリーグ愛媛FCのホームゲームに訪れたサポーターを対象に、「応急手当の体験コーナー」や「〇×クイズ」のほか、「マイナ救急」や「えひめ救急電話相談#7119」の啓発を行いました。

また、ハーフタイムには、愛媛FCや当消防局のマスコットキャラクターなどが心肺蘇生法のデモンストレーションを行い、応急手当や救急車の適時・適切な利用について啓発しました。

今後も、このような啓発活動を広く展開してまいります。



【啓発活動の様子】



【心肺蘇生法のデモンストレーションの様子】

◆ 「金沢救急フェア2026」を開催

金沢市消防局（石川）

金沢市消防局では、令和8年9月6日（日）、市内の大型商業施設において、「金沢救急フェア2026」を開催しました。

このイベントは、9月9日の「救急の日」を含む「救急医療週間」に合わせ、救急業務や救急医療に対する正しい知識と応急手当の重要性について理解を深めていただくことを目的として開催したものです。

当日は、約500人が来場し、心肺蘇生法やAEDの取り扱いのほか、「マイナ救急」や救急車の適正利用、「#7119」についても学びました。

また、金沢大学附属病院のご協力のもと、ドクターカーの展示も行われました。普段はできない体験を楽しみながら、家族で救急医療への関心を高める機会となりました。

今後も、このような取り組みを通じて、安全・安心なまちづくりにつなげてまいります。



【救急フェアの様子】

◆ 職員の家族を対象とした「応急手当体験型庁舎見学」を開催

備北地区消防組合消防本部（広島）

備北地区消防組合消防本部では、令和8年9月6日（日）、救急医療週間の一環として、職員の家族を対象とした応急手当体験型庁舎見学「消防・救急ファミリーデー」を開催しました。

この行事は、「いってらっしゃいを、安心に～家族で知ろう、いのちを守る仕事と安全への取り組み～」をテーマに、心肺蘇生法などの応急手当を体験するとともに、本年新築した消防庁舎を見学してもらい、消防の仕事について理解を深めてもらうことを目的として企画したものです。

家族が安心して職員を仕事に送り出せる環境づくりを目指すとともに、職員自身が仕事のやりがいを感じる機会となりました。

参加者は、家族との交流を図りながら、心肺蘇生法などの応急手当を学びました。



【応急手当体験の様子】



【バッテリーカー体験の様子】

◆ 「空き家ホテル・旅館における放火等火災予防啓発活動」を実施

安達地方広域行政組合消防本部（福島）

安達地方広域行政組合消防本部では、令和8年9月7日（月）、二本松警察署および関係機関と連携し、二本松市岳温泉地区内にある空き家状態のホテル・旅館の管理者に対し、「防火・防犯啓発チラシ」を直接手渡すなど、啓発活動を実施しました。

この活動は、空き家状態のホテル・旅館における放火火災の未然防止を図ることを目的として実施したものです。

今後も、市民の安全・安心な暮らしを守るため、放火火災の予防啓発に努めてまいります。



【防火・防犯啓発チラシ】



【啓発活動の様子】

◆ 地元高校生と連携して作成したデザインを採用した消防車両の運用を開始

松江市消防本部（島根）

松江市消防本部では、令和8年9月7日（月）、地元の県立松江東高等学校書道部と連携して作成したデザインを採用した消防車両の運用を開始しました。

この取り組みは、「市民の皆さまを守る」という信念を改めて胸に刻み、業務に取り組むことを目的として実施したものです。

消防車両には、「松江を守る」をテーマに、「気魄一闪（きはくいつせん）」の文字をデザインとして採用しました。

「気魄一闪」には、どのような困難にもひるまず、力強く立ち向かうという意味があり、危険な火の中や救助現場へ果敢に立ち向かう消防職員への応援の気持ちが込められています。

このデザインは、同年5月30日に地元ショッピングセンターで防火広報を目的として行った書道パフォーマンスをきっかけに作成したものです。

同パフォーマンスでは、「松江を守る」をテーマに作品を披露し、市民の皆さまへの防火広報や消防職員の意識高揚につながりました。

この思いを胸に、職員一丸となって地域の安全・安心を守ってまいります。



【デザインを採用した消防車両】



【書道パフォーマンスの様子】

◆ 一日救急隊長による救急業務に関する啓発活動を実施

宮古島市消防本部（沖縄）

宮古島市消防本部では、令和8年9月7日（月）、「救急の日」を迎えるにあたり、一日救急隊長による啓発活動を実施しました。

この活動は、宮古島観光アンバサダーを務める丸岡洋夢氏に一日救急隊長を委嘱し、救急業務について市民の皆さまに正しく理解していただくことを目的として実施したものです。

当日は、丸岡氏に一日救急隊長の辞令を交付した後、隣接する市役所において、救急車の適正利用や＃7119などに関するチラシを配布しました。

今後も、協力団体などと連携し、救急業務に対する市民の理解を深めるため、救急車の適正利用や救急相談窓口の周知啓発に取り組んでまいります。



【辞令交付後の記念撮影】



【啓発活動の様子】

◆ 鳥取県東部医師会から応急手当普及啓発用資器材を寄贈

鳥取県東部広域行政管理組合消防局（鳥取）

鳥取県東部広域行政管理組合消防局では、令和8年9月11日（金）、救急医療週間に合わせて、鳥取県東部医師会から、応急手当普及啓発活動用資器材として、ZOLL社製オートショック機能付きAEDトレーナー3台および人工呼吸用携帯感染防止マスク300個を寄贈いただきました。

当消防局では、応急手当の普及啓発を目的とした各種講習会を年間約300件開催しており、令和7年中の受講者数は延べ約5,000人に上ります。

今回寄贈いただいた資器材を活用することで、今後普及が見込まれるオートショック機能付きAEDについても、より効果的な普及啓発を行うことができます。

今回の寄贈に深く感謝するとともに、引き続き、いざというときに勇気を持って応急手当を実施できるバイスタンダーの育成に努め、地域における救命率の向上につなげてまいります。



【寄贈品一式】



【寄贈後の記念撮影（消防局長・医師会長）】

国等の動き

▽消防庁通知等

◆ ガス・石油燃焼機器安全啓発チラシのご案内等の送付について

(事務連絡、令和8年9月9日)

消防庁予防課から各都道府県消防防災主管課、各消防本部、非常備町村消防防災主管課あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

標記について、一般社団法人日本ガス石油機器工業会では、ガス・石油燃焼機器に起因する火災の防止を目的として、様々な啓発用チラシを作成されています。この度、秋季全国火災予防運動において活用いただけるよう、別添1のとおり、当該啓発チラシを無償提供する旨の案内がありました。

また、同工業会では、ガス・石油燃焼機器に関する過去の事故事例を踏まえ、正しい使い方を学ぶ講習会を開催しており、本年も引き続き、別添2のとおり講師派遣を実施する予定とのことです。

つきましては、火災予防広報の推進に当たり、啓発用チラシ及び講習会を適宜ご活用いただきますようお願いいたします。(別添省略)

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/2026_09_09_yobo.pdf) に掲載されています。

<問い合わせ先>
消防庁予防課
担当：室中
電話：03-5253-7523

◆ 消防本部における定年引上げに伴う高齢期職員の活躍等のための対応状況調査結果について

(消防消第375号、令和8年9月16日)

消防庁消防・救急課長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

日頃より、消防行政に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和5年度から、地方公務員における定年が段階的に引き上げられ、消防本部における定年引上げに伴う高齢期職員の活躍等のための対応については、「「定年引上げに伴う消防本部の課題に関する研究会」報告書について」(令和4年11月25日消防庁消防・救急課事務連絡)等でお示した対応及び留意点を参考に、取り組んでいただいていることと承知しております。

消防庁は、令和7年12月18日付「消防本部における定年引上げに伴う高齢期職員の活躍等のための対応状況調査について(依頼)」において、高齢期職員の活躍のための対応状況調査を実施し、今回、結果を取りまとめましたので、別添のとおりお知らせします。(別添省略)

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/teinennhikiage.pdf>) に掲載されています。

消防庁消防・救急課
職員第二係 岩熊・漆田・熊
TEL：03-5253-7522
FAX：03-5253-7532
E-mail：shokuin@soumu.go.jp

[目次に戻る](#)

▽報道発表

◆ 令和8年防災功労者内閣総理大臣表彰（消防関係）

（令和8年9月11日、消防庁）

令和8年防災功労者内閣総理大臣表彰（消防関係）受賞者は、次のとおりです。

防災功労者内閣総理大臣表彰受賞者 9団体

（受賞者名等は、別紙の受賞者名簿に記載されています。）（別紙省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/001091676.pdf>）に掲載されています。

連絡先

消防庁総務課

田中政策評価広報官・吉田係長・赤澤事務官

TEL 03(5253)7521 内線 42172

Mail fdma-soumukahyoushou_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際は、「@」に変更してください。

◆ 弾道ミサイルを想定した住民避難訓練の実施

（令和8年9月18日、内閣官房、消防庁）

福島県及び同県会津坂下町が、国と共同で、弾道ミサイルを想定した住民避難訓練を実施することが、以下のとおり決定しました。

また、今年度は、本訓練を含め、19件の訓練を実施する予定としておりますので、併せてお知らせします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/260918_kokuun_1.pdf）に掲載されています。

（問い合わせ先）

内閣官房副長官補（事態対処・危機管理担当）付
（国家危機管理室）

内閣参事官 石河 正哉

参事官補佐 早川 元章、阿部 修也

TEL 03-3581-8485

消防庁国民保護・防災部防災課国民保護運用室

国民保護運用室長 山下 義弘

課長補佐 関本 徹

係長 木内 宏知

TEL 03-5253-7551

▽情報提供

◆ 「ぼうさいこくたい2026 in 鳥取」の開催について

全国消防長会

鳥取県倉吉市において、令和8年10月17日（土）、18日（日）の2日間、防災推進国民大会2026（ぼうさいこくたい2026）が「共に考え・備え・守る～支え愛で守る命と暮らし～」をテーマに、鳥取県で開催されます。

ぼうさいこくたいは、防災に関する活動を実践する多様な団体・機関が一同に会し、取り組み・知見を発信・共有する日本最大級の防災イベントで、平成28年から開催され今回で11回目となります。

※全国消防長会では、会長が本イベントを主催する防災推進国民会議の議員を務めています。

【ぼうさいこくたい2026開催内容】

防災力の向上へつなげるプログラムとしてセッション、ワークショップ、ブース展示などを実施します。

- 1 開催日程
令和8年10月17日（土） 10時30分～19時30分
10月18日（日） 10時30分～17時30分
- 2 開催場所
・エースパック未来中心（〒682-0816 鳥取県倉吉市駄経寺町212-5）
・鳥取県立美術館（〒682-0816 鳥取県倉吉市駄経寺町2-3-12）
他、周辺施設
- 3 主催
防災推進国民大会2026実行委員会（内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議）
- 4 参加費
無料
- 5 ウェブサイト
<https://bosai-kokutai.jp/2026/>

消防本部の“今”を「週間情報」へ

～身近な出来事、旬な情報を週間情報で発信しませんか？～

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

・原則毎週刊行しており、速報性のある広報となっています。

【留意事項】

・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練などを中心に掲載しています。

・文章は、200～400文字程度、写真は、1～2枚。

・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

【問合せ】：「週間情報」担当・企画課 中西 TEL:03-4500-6622

原稿データは、【専用投稿フォーム】 <https://forms.office.com/r/GxWJXpdc03>
に投稿願います。



機関誌「ほのお」掲載記事募集中

全国の仲間と共に共有したい取り組みとその情熱を「ほのお」へお寄せください

全国消防協会では、機関誌「ほのお」への掲載記事を募集しています。

・トップ・セカンド記事 完成原稿は不要 掲載希望内容の概要（企画案）を提出

・消防ワイド 写真中心の自由投稿 文章:Word100字程度／写真:JPEG1枚

【問合せ】：企画課・吉田 TEL 03-4500-6622

トップ・セカンド記事: kikakeikaku@fcj.jp 消防ワイド: honoo@ffaj-shobo.or.jp

※添付 5MB 超は分割送信



消防デジタルイラスト募集中!!!

～あなたのイラストが全国の消防業務を支える力となります～

- あなたのイラストが、全国の消防本部で、広報・啓発・訓練・教材作成など、消防業務の様々な場面で活用されます。
- 全国消防長会ホームページの「令和版 消防デジタルイラスト集」に掲載されます。
- ホームページ掲載時には、「〇〇消防本部〇〇作」と作者名を明記し、あなたの名前と作品が、全国に紹介されます。

詳細は、全国消防長会ホームページを検索!!!



全国消防長会・一般財団法人全国消防協会「公式 X」を開設!

～あなたのもとへ直接、素早く情報をお届け～

- 全国消防長会・一般財団法人全国消防協会「公式 X」を開設しました。フォローをお願いします。
令和8年度から定期刊行物（会報・ほのお・週間情報 ※週間情報は既に公開中）をホームページ上で公開することに伴い、「X」を通じて掲載情報などを素早くお届けします。
フォロー（アカウント登録）していただくことにより、各消防本部の先進的な取り組みや本会の取り組みなど多くの情報をお届けいたします。



フォローはこちら



X(旧 Twitter) 登録用二次元コード

